谷川　白毛門沢～ウツボギ沢～東黒沢
日程　2011 年 7 月 23 日～24 日
メンバー　L 早川、新井、柳下

7 月 24 日に所用があり、夕方までに自宅に戻りたいという条件付きで、早川さんに声をかけたところ、白毛門沢を遡行し、笠が岳避難小屋に泊まるというプランを提案してくれた。せっかく泊まりで行くなら焚き火もしたいので、白毛門沢遡行後にウツボギ沢を下り、ナルミズ沢出合の広河原に泊まることを提案し、快諾を得た。

実はウツボギ沢は 2 回下降したことがあるのだが、20 年ほど前、初めての泊まりの沢が、湯檜曽川本谷遡行、ウツボギ沢下降だった。メンバーに新井さんも加わり、新しい仲間とともに思い出深いコースを辿る機会に恵まれた。

7 月 22 日

海老名に集合し、水上へ向かう。道の駅「水上町水紀行館」で前泊。

7 月 23 日

5 時過ぎ起床。土合橋手前の駐車場で身支度し、7 時に歩き出す。東黒沢にかかる橋を渡り、白毛門に向かう登山道と別れ、東黒沢沿いの道を辿る。7 時 20 分入渓。すぐに美しいナメになる。昔ここを下った時の思い出が蘇る。2 日間歩き疲れて、スリップばかりしていたなあ。見覚えのある風景の中を歩き、間もなくハナゲの滝に到着。

左に立派な巻き道がついているが、私以外は登りたいとのこと。左を途中までフリーで登るが、落ち口がわからないので、早川さんトップでロープを出してもらう。

ハナゲの滝先は倒木が多い。15 分ほどで白毛門沢出合へ到着。沢の中に陽も差してきて、蒸し暑く、汗が噴きだす。

白毛門沢は小滝とナメが続く。8m の滝はロープを出し、右から登る。後続の 2 人パーティーに先を譲る。

続く 4m はハーケンを打つ。目の前にタラタラのセンが現れる。右岸のルンゼから巻く。

タラタラのセンの上は大ナメが続き、すぐに「大岩」が出てくる。

良くぞ、こんなところにあるものだ。大岩を支える木の枝のところで新井さんが記念撮影。

早川さん、新井さんは岩の右から、私は左から登る。すぐに合流するかと思ったら、左は倒木帯に突入してしまい、右の本流に戻るのに時間がかかり、心配させてしまう。ほんの少しのことなのだが、パーティーが分かれるのは危険なことを再確認する。大岩上で大休止。ジジ岩、ババ岩が見えてくるがまだま

だ遠い。既に 12 時を回り、以外に時間がかかっている。空が暗くなってきたが、暑いことに変わりはない。

二俣の先はすっかり水量が減り、乾いたルンゼの登攀になる。傾斜が強くなり、スラブ状になると高度感がいっぱい。滑ると止まらなそうなところは、後ろを振り返る余裕が無い。ひたすら足元を見て、上へ向かう。最後は少し藪をこぎ、14 時に白毛門山頂に突き上げた。ここまで既に 7 時間。暑さにすっかり参ってしまい、山頂で大の字になり、しばし昼寝タイム。

15 分ほど横になり、ウツボギ沢の下降点に向かい、登山道を歩く。ウツボギ沢が目の前に見えていて、早く降りたいが、中々良いポイントが無い。結局笠が岳手前のガレ場まで登り、休憩の後 15 時に下降開始。

落石に注意しながら下ると、すぐに水が出てくる。この沢もナメの多いきれいな沢だ。かつての記憶では 1 回だけ懸垂があったと思うが、どこだったのか記憶が定かでないが、難しいかったという記憶はないので、2 時間程度で降りられるかとおもったが、それほど簡単ではなかった。結局懸垂は 3 回。広河原には 18 時 30 分到着となった。沢シーズン真っ盛りなのに、広河原には他に誰もいない。心配していた薪もそこそこある。真っ暗になる中で新井さんが岩魚を 3 匹釣って帰ってきてくれた。食事を終え、河原に横になると雲が切れてきて、今年最初の天の川を見る。長時間行動だったが、ここまで降りてきて良かった。

7 月 24 日

海老名到着 18 時をリミットとしたので、昼には車に戻れるように 4 時起きにする。5 時 50 分出発。5 分ほどウツボギ沢を戻り、左の枝沢に入る。このコースは土合からナルミズ沢に入るパーティーに良く使われていて、ところどころテープもある。

出合から鞍部までの標高差が約 150m。すぐに着くだろうと思っていたのだが、稜線がだんだん遠くなる。水がなくなり、いつの間にか踏み後も消え、ルートを外したようだ。コンパスで方向を確認し、稜線に着いたのは 7 時過ぎ。武能岳のすぐ下まで登ってしまい、だいぶ時間をロスしてしまった。

ウツボギ沢側に引き込まれないように注意しながら鞍部に向けて下り、丸山沢に下りたのは 7 時 30 分。約 1 時間のロスだ。

丸山沢は、特に悪いところがなく、ナメの美しい沢だ。滝にはしっかり巻き道がついていて、どんどん巻いて降りる。途中懸垂は 1 回。早川さんが腰を痛め、途中少し休みながら降りる。

前方から商業キャニオニング軍団が何パーティも登ってくる。全身黒のウエットスーツで、まるでショッカーだ。もっともキャニオニングを楽しむ 20 代たちには、古すぎる話だろうが。

ハナゲの滝に 11 時着。キャニオニングの若者を見物。君たち！もっと楽しい大人の遊びがあるんだよ。

キャニオニングの後を追い、東黒沢左岸に立派な道があるのに気がつき、どんどん進んだが、キャニオニング道は、ちょっとしたところで大渋滞。ハナゲの滝から 30 分かかり、12 時前に駐車場に到着して終了。早川さん、新井さん、ありがとうございました。